

京都教育大学 F D ニュース

No. 49

2009年11月18日

FD 委員：泉 恵美子、和田 尚、水谷 宗行、芝原 寛泰

平成 21 年度前期の授業アンケート結果について

前期授業アンケート(教育学部)にご協力いただき、有り難うございました。実施結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

実施期間：平成 21 年 7 月 2 日 (木) ～ 7 月 24 日 (金)

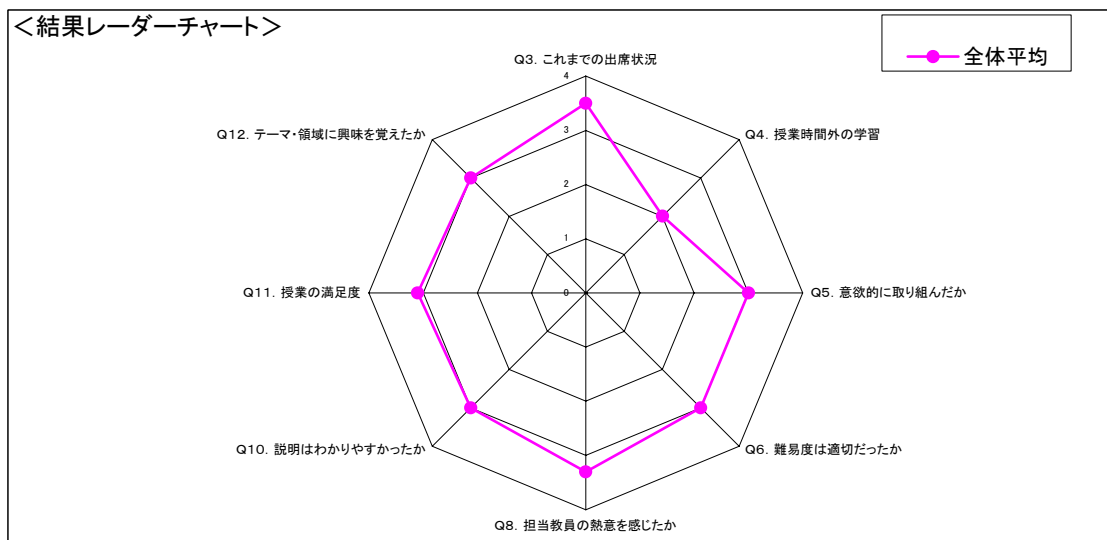
対象科目数：415

実施科目数：342 (実施率 82.4%)

実施科目の履修者数：12,936

回答者数：10,572 (回収率 81.7%)

本年度前期は、新型インフルエンザによる授業休止があり、実施期間が延びることになりましたが、実施率や回収率に大きな変化はありませんでした。全体の結果レーダーチャートは以下の通りで、各項目の平均得点の分布は平成 19 年・平成 20 度とほとんど変化がありません。



これまで、Q11「あなたはこの授業を受講してどの程度満足しましたか」において上位群(3、4を選択した群)と下位群(1、2を選択した群)に分けると、Q8「担当教員の熱意を感じたか」やQ10「説明はわかりやすかったか」で、上位群での評価の高いことが、平成19年度後期結果や平成20年度前期結果で報告されています。

今回は、項目間の大まかな比較として、相関関係を見ました。

初めに、Q2「この授業を受講するにあたってシラバスを参考にしましたか」から、Q12「あなたはこの授業で取り扱ったテーマ・領域に興味を覚えましたか」の12項目を対象として項目間の相関関係を検討しました。ここには、特徴を示しているQ5～Q12までの結果を示しています。

Q1は受講科目を選択した動機を尋ね、答えをカテゴリーとして聞いているので、今回の相関関係の検討からは除きました。Q2からQ4の項目と他項目との相関で、最も大きいものはQ4「授業時間外の学習時間」とQ5「意欲的な取り組み」の間の.225、またQ2「シラバスを参考」とQ5「意欲的な取り組み」の間が.218で、その他にはほとんど相関は見られませんでした。

表1 質問項目間(Q5~Q12)の相関係数

	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q5 意欲的取り組み	1.000							
Q6 難易度の適切さ	0.421	1.000						
Q7 個人的難易度	0.018	-0.154	1.000					
Q8 担当教員の熱意	0.407	0.422	0.066	1.000				
Q9 授業内容の体系的	0.401	0.493	0.006	0.579	1.000			
Q10 説明の分かり易さ	0.456	0.568	-0.126	0.554	0.656	1.000		
Q11 授業の満足度	0.500	0.544	-0.034	0.532	0.589	0.654	1.000	
Q12 テーマへの興味	0.475	0.470	-0.037	0.452	0.475	0.535	0.586	1.000

表1は、Q5～Q12間での相関係数を示しています。最も相関が高いグループは、Q9～Q11の3項目間で見られ、0.6前後の相関係数となっています。「授業内容が体系的にまとまっていた」「説明はわかりやすかった」「授業への満足度」が、互いに関連が高く、「授業への満足度」がそうした要因と関わっていることが分かります。その次に高い相関関係が、Q8とQ9～Q11の間に見られます。これまで指摘されたように、Q8「この授業に対する担当教員の熱意を感じましたか」が、Q11「あなたはこの授業を受講してどの程度満足しましたか」と相関の高いことが示され、そしてまた、「授業内容の体系的」や「授業のわかりやすさ」との高い相関も示しています。

Q5「授業への意欲的な取り組み」は、上記の項目間ほど高い相関ではありませんが、他項目との相関が見られます。またこれらの中で、Q7「あなたにとって、この授業の難易度はどうでしたか」は、他項目との相関が見られない項目であることが分かりました。

こうした予想以上に高い相関関係も、授業での今後の配慮について、一つの示唆を与えてくれるように思われます。

今回で2回目になる各教員作成の追加項目欄の使用は、342科目中13科目(3.8%)でしたが、今後その使用が広がり有効に利用されればと思います。

平成21年度 FD研修会について (案内)

*日程：12月16日(水)：13時～13：40分 村上 忠幸教授(本学 理学科)

「おや、不思議だ、なぜだろうー探究的な理科学習を実現するためにー」

同日：13時40分～14：20分 高乗 秀明教授(本学 附属教育実践総合センター)

「学生の意欲と満足度を高める授業づくりー教職科目での実践を通じてー」

*日程：1月20日(水) 13時～14時20分 神藤 貴昭准教授(立命館大学 経済学部)

「FDをどう考えるかー教員養成課程のFDに向けてー」

(いずれも教授会前の開催です。奮ってご参加ください。)

大学院担当者による授業アンケートを実施しております。提出期限は11月末です。

詳しくは、FD委員会からのメール(10月30日付)をご参照ください。